

2019年3月28日

各位

田辺三菱製薬とマalaria研究機関の抗マalaria薬の共同研究に対し、
グローバルヘルス技術振興基金（GHIT Fund）から資金助成

田辺三菱製薬株式会社（本社：大阪市、代表取締役社長：三津家 正之、以下「当社」）は、マalaria治療の研究機関である Medicines for Malaria Venture（以下、MMV）と共同研究を進めており、このたび、新規抗マalaria薬の候補となるリード化合物 2 種類を取得し、これらの最適化を進めるプログラムについて、公益社団法人グローバルヘルス技術振興基金（Global Health Innovative Technology Fund、以下「GHIT Fund」）から 1.92 億円の助成を受けることとなりました。

GHIT Fund は、マalaria、結核、顧みられない熱帯病等、開発途上国の人々を苦しめる感染症に対する新薬創出を促進するために、日本発の官民パートナーシップとして 2013 年に設立されました。日本の製薬企業などが保有する高い科学技術の知見を活用した創薬力によって、グローバルヘルスに対する日本の国際貢献の強化をめざしています。

当社はグローバルヘルスに貢献するという GHIT Fund の趣旨に賛同し、GHIT Fund の第 1 期活動（2013 年度～2017 年度）に対して 4,000 万円、第 2 期活動（2018 年度～2022 年度）に対して 1 億円の資金を拠出しています。また、2015 年 5 月には、GHIT Fund を通じて、当社の医薬品化合物ライブラリー（5 万化合物）を MMV に提供して共同研究を開始し、3 種類の有望なヒット化合物を同定することができました。今回、最適化を進めるに至ったリード化合物は、この 3 種類のヒット化合物の一つから派生したものです。

マalariaは、エイズ、結核と並ぶ世界三大感染症の一つで、マalariaの根絶は、「持続可能な開発目標（Sustainable Development Goals,SDGs）」の目標として掲げられており、先進国と開発途上国間の健康格差の是正にも繋がります。また、当社が取り組むべき重要課題である「マテリアリティ」の一つとして「人々の健康に関連する社会貢献活動」を掲げています。GHIT Fund を通じた一連の取り組みは、このマテリアリティのなかで主要な取り組みと位置付けており、開発途上国における医薬品アクセスの向上と SDGs の達成に直接的に貢献するものと考えています。

当社と MMV との共同研究は 2019 年 4 月から次ステージに移り、GHIT Fund の助成金を活用しながら、開発候補品の創出をめざして、2 年間のプログラムを進めています。当社は、アンメット・メディカル・ニーズに応える医薬品の創製を通して、持続可能な社会の実現に寄与するとともに、世界の人々の健康に貢献していきます。

田辺三菱製薬株式会社 広報部

(お問合せ先) 報道関係者の皆様 TEL : 06-6205-5119
株式市場関係者の皆様 TEL : 06-6205-5110